

ディケンズ・フェロウシップ日本支部
The Japan Branch of the Dickens Fellowship

令和 3 年度秋季総会プログラム
Annual General Meeting 2021 Programme



Portrait of Charles Dickens, by Daniel Maclise

日時 : 2021 年 10 月 2 日 (土)

Date: 2 October 2021

開催形式 : オンライン (Zoom で開催。詳細は本プログラム末尾をご覧ください。)

Platform: Zoom

13:00-13:30 **理事会** Board of Trustees Meeting

13:10 **Zoom 会場オープン** Zoom link open

13:40 **開会の辞 Welcome Address**
松本靖彦（ディケンズ・フェロウシップ日本支部長）
Yasuhiko Matsumoto (President, The Japan Branch of the Dickens Fellowship)

13:45-14:15 **総会 General Meeting**

14:20- **第1部 研究発表 Short Paper Session**

司会：甲斐清高（名古屋外国語大学）
Kiyotaka Kai (Nagoya University of Foreign Studies)

14:20-15:00 **研究発表1 Short Paper 1**

発表：中迫史音（慶應大学大学院） Ayane Nakasako (Keio University)

「1980年代教育改革批判としてのディケンズ作品：
ロアルド・ダール『マチルダはちいさな大天才』におけるアダプテーション」
“Dickens’s Novels as a Criticism of the Educational Reform in the 1980s: An
Adaptation in Roald Dahl’s *Matilda*”

15:05-15:45 **研究発表2 Short Paper 2**

発表：佐取愛香（慶應大学大学院） Aika Satori (Keio University)

「紳士の「簡単な条件」ーディケンズの作品における主人公の名づけ」
“The ‘Easy Condition’ for Being a Gentleman: The Naming of the Protagonists
in Dickens”

16:05-17:15 **第2部 講演 Lecture**

司会：田村真奈美（日本大学） Manami Tamura (Nihon University)

講師：梅宮創造 Souzou Umemiya

「書出しの吟味」
“Perusal of the Beginnings”

17:30

閉会の辞 Closing Address

玉井史絵 (ディケンズ・フェロウシップ日本支部副支部長)

Fumie Tamai (Vice President, The Japan Branch of the Dickens Fellowship)

研究発表・シンポジウム梗概

第 1 部 研究発表 Short Paper Session

研究発表 1 Short Paper 1

「1980 年代教育改革批判としてのディケンズ作品:

ロアルド・ダール『マチルダはちいさな大天才』におけるアダプテーション」

“Dickens’s Novels as a Criticism of the Educational Reform in the 1980s:

An Adaptation in Roald Dahl’s *Matilda*”

中迫 史音

1988 年、Thatcher 政権下では教育改革法が新たに制定され、英国の教育現場は大きく変化した。新教育指針において、国定カリキュラムの採用は学校ごとの教授内容や進行度の差を埋めるなどの利点をもたらした一方、過度な fact-cramming であるといった現場からの強い反発を招いた。この改革にいち早く反応したのが児童文学作家 Roald Dahl である。Dahl は改革法施行と同じ 1988 年に出版された *Matilda* において、頻りに Dickens 作品に言及しているが、特に、主人公が通う小学校の校長であり新教育体制を体現する Miss Trunchbull を諷刺する際、彼女を *Nicholas Nickleby* の Wackford Squeers 校長に同化させている点は注目すべきであろう。本発表では、Dickens が批判的に描いたヴィクトリア朝社会の根底にある想像力を欠いた事実重視と 1980 年代英国との類似を、両時代における教育体制及び理念に注目しながら考察し、Dickens と Dahl に通底する、いわば anti-Victorianism の小説的技法を詳細に検証したい。

研究発表 2 Short Paper 2

「紳士の「簡単な条件」—ディケンズの作品における主人公の名づけ」

“The ‘Easy Condition’ for Being a Gentleman: The Naming of the Protagonists in Dickens”

佐取 愛香

“Available Names”と題したメモに作品の登場人物の名前として使用しうる人名を書き留めるなど、作品の登場人物の「名前」に関心を寄せていたディケンズは「名づけ」という行為を作品の中でも描いている。例えば『オリバー・トゥイスト』のバンブルによる主人公への名づけ、あるいは、『デイヴィッド・コパフィールド』のベッツィー・ Trotterによる主人公への Trotter という名づけのように、他者から主人公への名づけが行われている。一方で、『大いなる遺産』の主人公の名づけは主人公自身によるものであるといえる。本発表では『大いなる遺産』を中心として、「名づけ」の主体の変化と名前の機能という観点から作品の考察を試みる。

第 2 部 講演 Lecture

「書出しの吟味」

“Perusal of the Beginnings”

梅宮 創造

近ごろ、小説の書出しをよく読みます。英語か日本語かを問いません。書出しだけ読んでやめるときが七、八割ぐらい、その後も読みつづける 때가二割ぐらいでしょうか。甚だわがままな文学鑑賞であります。なぜ、そういう読み方をするのかというのが、本講演の中心テーマとなります。つまり、書出しがどれほど大切かという話になります。ここでは主にディケンズの諸作品を扱いますが、裏にひそむ意図としては、イギリス文学と日本の近代文学、さらには翻訳文学全般に通じる「文学の核心」なりを暗示できればと希っております。老人の独り言のようなものです。どうぞお恕しく下さい。

2021年度秋季総会（10月2日）のオンライン開催について

1) オンライン開催のプラットフォーム

Zoomのオンライン会議システムを使っての開催です。パスワードを埋め込んだURLを、学会の前日に、研究発表者やシンポジウムの講師の先生方のハンドアウトとともに、皆様にMLを使ってお知らせしますので、そのURLをクリックすることで、当日それぞれのご自宅や研究室などから参加してください。参加者はそのURLを使って自由に入室や退室、再入室をしていただけます。前日正午までにURL等が届かない場合には支部長宛てメールでお問い合わせください。

なお、不審者の侵入を防ぐために、このURLは安易に外部者に教えないようお願いいたします。会員以外で当日の参加をご希望の方は、一週間前の9月25日中に支部長宛メールで申し込まれるようお知らせください。

2) 参加のルール

Zoom への参加は13時10分以降にお願いします。待合室は用意していませんので、URL でそのまま参加していただけます。司会者や発表者、講師以外の参加者は、必ずマイクオフ、ビデオオフで参加してください。なお、入室時の名前は、できればペンネーム等ではなく、本名のフルネームをお願いします。

3) 質疑応答

質疑応答の時間のみ、質問がある方は、マイクオン、ビデオオンでご質問ください。マイクオンで所属とお名前を名乗っていただければ、司会者が適宜指名して質問していただきます。また、マイクオンで質問しても質問が届かないような場合には、Zoomのチャット機能を使ってお名前と質問を書き込んでください。

4) 研究発表会の前に総会を開催いたします。総会の議題は大会の前日にハンドアウト等と一緒にMLでお送りしますが、総会におけるご意見やご質問がある場合にも、研究発表と同様に、マイクオン、ビデオオンでお名前を名乗っていただいた上でご質問ください。チャットでのご質問も受け付けます。また、皆様の賛同をいただけるかどうかを伺う場合には、Zoomの「反応」のタブを使ってお願いすることにしたいと思います。その方法については、当日総会時に支部長より説明いたします。

5) 指定のZoomミーティングがダウンした場合の対応

Zoomの管理は、ビデオ担当の橋野先生と西垣先生が共同ホストとなって行ってくださいます。もしも橋野先生が準備してくださっているZoom ミーティングに不具合が生じた場合は、予備のZoomとTeamsを準備しておりますので、支部長からその時に予備のURLをMLにて即座に皆様にお送りし、HPにも同時に松岡先生からアップしていただきます。それを見て、同様の形で新しいミーティングに参加してください。

6) Zoomにおける参加方法の説明

会員の中にはZoomを使ったことがない方もいらっしゃるかと思いますので、以下簡単にご説明します。基本的にMLでお知らせするPW埋め込みURLをクリックすれば、アプリを持っていない人でも自動的に必要なアプリがダウンロードおよびインストールされ、参加することが可能になります。詳しくは、以下のZoomのサポートページのURLにある説明をご覧ください（Zoom公式サポートページです。ミーティング参加方法が載っています）。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362193-%E3%83%9F%E3%83%BC%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%81%AB%E5%8F%82%E5%8A%A0%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%AB%E3%81%AF%E3%81%A9%E3%81%86%E3%81%99%E3%82%8C%E3%81%B0%E3%82%88%E3%81%84%E3%81%A7%E3%81%99%E3%81%8B->

日本語版

<https://www.youtube.com/watch?v=rRnAexq-naU>

7) 日本支部の会員以外の方で当日学会に参加を希望される方は、総会当日の一週間前、つまり9月25日（土）までに、支部長までメール(matsukoアットマークrs.tus.ac.jp)でお知らせください。

以上です。何かご不明のことがあれば、ご遠慮なく支部長宛てメールでご質問ください。それでは当日お目にかかれましてを楽しみにしております。